

第39回「見える！わかる！下水道工事コンクール」最優秀賞の事例紹介

建設工事の部
下水道管きよ部門

第二桃園川幹線立坑設置工事

株式会社森組 東京本店



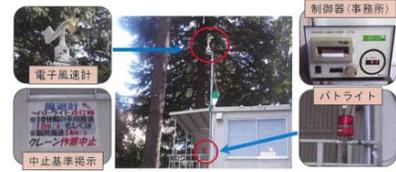
工事情報の提供

周辺住民に工事全体の流れを把握してもらうため、工事概要を3DCGで表し、LEDモニターで放映するとともに、作業予定の掲載を行った。イラストや写真を多く取り入れた広報板を設置し、工事の目的などをわかりやすく説明した。



地域への配慮

AEDを現場事務所に着用し、緊急時にも対応できるようにするとともに、一般の方にも使用してもらえよう、外部に設置場所を明示した。



作業環境の快適化

本工事の作業所はクレーン作業がメインとなることから、オペレーターから見やすい位置に電子風速計と吹き流しを設置した。異常時にはパトライト等により警報が鳴るように設定し、クレーン災害の防止に努めた。

改良・補修工事の部
下水道管きよ部門

江東区東陽七丁目付近外人孔防食被覆補修工事

株式会社メーシク



工事情報の提供

通行中の方にも工事内容を理解してもらえるよう、A型バリケードのバリケードシートに施工前後の写真などを掲載した。また、施工箇所が海外から多くの観光客が来られる場所であったため、4か国語の広報シートを作業車両の側面や歩道上に設置した。



地域への配慮

マンホール上部の洗浄にあたり、ほこりや洗浄水の地上部での飛散を防ぐため、フード型カバーを作成して開口部に設置した。カバー側面には吸音・防音材を使用し、洗浄時の不快な音漏れを軽減する工夫も行った。



作業環境の快適化

硫化水素等によりコンクリート躯体が腐食した現場での施工であったことから、安全柵一体型の墜落防止救助器具を使用し、マンホール内部から安全に作業員を引き上げることのできる作業環境を整えた。

建設工事の部
水再生センター・ポンプ所部門

清瀬水再生センター沈砂池ポンプ棟ほか耐震補強工事

関建設工業株式会社



工事情報の提供

近隣住民に工事内容を理解していただき、下水道事業に関心を持ってもらうため、タッチパネル型のデジタルサイネージを用いた電子看板を設置し、工事情報や週間作業予定などの情報をお知らせした。



地域への配慮

粉じん対策として、保安仮設のB型バリケードの上部にシートを張るとともに、下部のパネルにはアースくんステッカーを作成、添付し、下水道事業への親しみやすさを演出した。



作業環境の快適化

作業箇所全体の照度を確保するため、32Wトルネード型蛍光灯照明を架空配線した。また、作業箇所が点在していることから、作業責任者のヘルメットに熱中症計測器を装着することで、熱中症対策を図った。

改良・補修工事の部
水再生センター・ポンプ所部門

みやぎ水再生センター汚泥焼却設備補修工事

月島機械株式会社



工事情報の提供

機器の撤去・据付けにあたり、400tクレーンを公道上に設置することから、工事内容などを記載した工事のお知らせを近隣住民あてにくまなく配布した。



地域への配慮

400tクレーンの組み立てにあたり、低騒音型・排ガス規制適合型の重機を用いて公害対策を図るとともに、近隣住民への配慮に努めた。また、イメージアップシートを用いた仮設フェンスを設置し、景観との調和を図った。



作業環境の快適化

毎日のKY（危険予知）活動を当日の作業エリアにおいて実施することで、作業員の安全感を高めた。また、重機による揚重作業中は、作業員全員が安全反射ベルトを着用して各担当の明確化を図った。